

「共生と協働」をテーマにコンパクトなまちづくりを実践



鏡石町長
木 賊 政 雄

平成18年の輝かしい新年をご家族揃いで迎えのことと心からお祝い申し上げます。

昨年は、JR福知山線脱線事故、アスベスト問題、ロンドンの同時多発テロ、ハリケーン「カトリーナ」による自然災害、相次ぐ児童殺害事件など「安全・安心」が問われた一年ではなかったかと思えます。本町においては、一昨年末に県内市町村別犯罪発生率で県内ワースト1となったことを受けて、町防犯協会・地域安全推進協議会・防犯指導隊・地域安全活動推進員の皆様のご協力をいただき、緊急防犯活動を昨年1年間を通して展開して参りました。また、7月には町老人クラブ連合会による「鏡石の孫を見守り隊」が発足、子どもたちの安全を確保していただくなど、地域の安全の輪が町全体に広がったものと確信しております。

さて、今年3月末で当初の合併特例法の期限を迎える市町村合併については、県内の市町村の数も当初の90から61市町村となります。本町においては、この期限にこだわらず町の置かれている「地域特性と優位性」を活かしたまちづくりを推進し、町民皆様と共に、私たちの郷土「鏡石町」を誇れる町にしたいと考えておりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

幸い、昨年10月に行われた国勢調査の速報が昨年末に発表されましたが、少子高齢化社会となり人口減少の時代に入った中で、前回平成12年調査を僅かに上回り、前回調査と比較して増加した県内8市町村の中に入ったことは、明るい話題となりました。

今後は、これまでの慣行にとらわれず、大胆な発想と創意工夫により、全町民の「知恵と行動」を集結し、「共生と協働」をテーマにまちづくりを継続して参りたいと考えております。

国の三位一体改革が一応決着したとはいえ、未だに不透明な中、新年度予算編成はこれまで以上に厳しい内容となることが予想されますが、第4次総合計画の基本テーマである「共に生き 共につくる 牧場の朝のまち 鏡石」の実現に向けて、鋭意取り組んで参る所存であります。特に、今年は、懸案事業であった第一小学校体育館改築事業の着手をはじめ、子育て・少子化に対応した「幼児教育・児童福祉事業」の充実のほか、生活に身近な諸事業に取り組み、「やすらぎ」と「うるおい」の実感できるまちづくりを進めて参りたいと考えております。

緩やかに持ち直し傾向の続く日本の経済情勢の中ではありますが、これまで以上に行政改革を推進し、コンパクトなまちづくりを実践、町民一人ひとりが「ほんとうの幸せ」を実感できる1年とするため、より一層努力して参る所存でありますので、引き続き温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。終わりに、町民皆様のこの一年のご健康とご多幸をお祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。

明るく豊かな町づくり



鏡石町議会議長
菊 地 栄 助

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

また、日頃から議会に対しましてご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の夏は、暑い日が続きましたが、幸いにも当地方には大きな災害も無く、平穏な年であったと思えます。

しかし、本町を取り巻く諸情勢は、我が国経済の幾分明るい兆しが見えるにもかかわらず、以前景気低迷の状態にあり、町民生活にも影響を受け、未だ厳しい状況が続いております。

また、行政需要も、量、質ともますます複雑多様化するなど厳しいものがあります。

現在、議会においては、国道4号4車線化の早期着工、鏡石スマートインターチェンジの設置等、国会議員や県に対し強く要望活動をしているところであります。

継続事業であります、県営成田地区ほ場整備事業の工事も着実に進展しております。

また、昨年9月には、「イオン鏡石ショッピングセンター」が南部第一工業団地にオープンし、多くの雇用があり、さらなる波及効果を期待するものであります。

今年も、三位一体の改革、介護保険の充実等、課題も山積しておりますが、希望の持てる、明るく豊かな町づくりのため邁進してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、町民皆様のご多幸とご健勝で良い年でありますようご祈念いたしました。新年のごあいさつといたします。